

街角から・・・

蕎麦打ち名人 針谷努さん

「これはうまい！」みんなの口から思わず出てしまう。均等に切れ、見事に盛り付けられた艶やかな蕎麦。この蕎麦を打ったのは、領家在住の針谷さんだ。腕前は2段。この秋、3段へ挑戦する。段位認定制度の試験にパスしないとならない。切り揃え率は90%以上という難関だ。

定年後の趣味として、6年前の医療生協での蕎麦打ち体験をきっかけに、埼玉蕎麦打ち倶楽部の教室へ通い始めた。針谷さんは、地域の蕎麦好きの人や集まりなど自ら進んで蕎麦を打ってくれる。それは、NPO全麵協の目的に「そば打ちを通して仲間づくりと地域づくりを進める」こともあるが、ありがたくもあり、嬉しくもある。また、技能向上のためには日頃の研鑽が必要で、稽古で打った蕎麦を仲間（サポーター）に食してもらおう。針谷さん曰く、「好きな蕎麦を自ら打って、美味しく食べる、そして仲間ができる、これ楽しみなり」と。自宅や会合で手打ち蕎麦を食べたいときはサポーターとして大歓迎だそうです。ご連絡下さい。（領家：石川）



白いつ張り姿も凛々しい針谷さん

* 耳より情報 *

6月14日(日) 13:10~ 埼玉教育会館
埼玉「資本論」教室 第3巻のためのガイダンス 無料

講師 宮川彰(首都大学東京名誉教授)

6月14日(日) プラザイースト2F

ドキュメンタリー映画「圧殺の海」上映会

10:00~11:50 12:30~14:20 15:00~16:50 17:30~19:20

一般1300円 学生1000円 当日1600円

のみ保育あり保育は一人300円(事前申込が必要)

6月18日(木) 18:30~ 浦和コミセン(バルコ10階)

「オール沖縄のたたかいに学ぶ」

お話 仲山忠克(弁護士・沖縄革新懇代表世話人)

6月21日(日) 13:00~ 市民会館うらわ

さいたま子どもの権利センター総会

講演 堅 十萌子さん(埼玉中央法律事務所)

6月27日(土) 6:50 駒場グランド集合

福島の実状を知るバスツアー第2弾

現地案内: 伊藤達也氏(原発問題住民運動全国連絡センター)

6月26日(金) 13:30~ 大宮教育会館

「戦争法案学習会」

講師 堅 十萌子さん(埼玉中央法律事務所)

うらわだいいこ

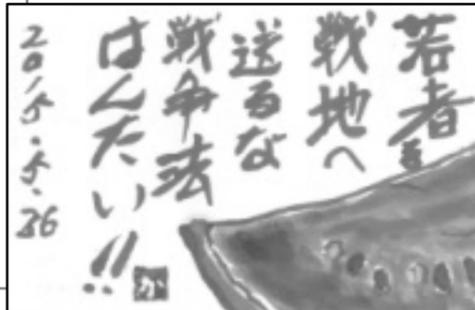
平和安全法制
戦車を花電車風に飾る
ゴマカシことばだ!
怒る国民

(東口・さぶ老)

川柳 (東口・さぶ老)

* 渡米までし 基地と命の手形切り
* 戦争法 9条安保を踏み越えて
* お詫びすら 口が裂けても言わぬ奴
* 我がこそは 平成の松陰と自己陶醉

うらわ宿文芸



論集後記

「経済学の勉強は、経済学者に騙されないため」と経済学者「ノー・ロビンソン」が言った。今、安倍政治に騙されないように学習が肝要か。11本もの安保法制関連法案を提出し、短期間で一気呵成の成立を狙っている。戦争法案そのものだが、「国民の安全、命を守る」ためと説明する。国会論戦の安倍首相の話はわかりにくい。質問に的確に答えず自分の主張だけ強弁している。国会は「難しいことをやさしく」国民に伝えることが役割だろう。天声人語で「手だれの」と言われた志位さんの話は、理路整然と分かりやすい。腕利きであり、熟達 人だ。戦争法案の本質がよくわかり、後方支援は兵站であり、武器の使用は、武力行使であり、必ず戦死者、犠牲者が出る。黒を白と言いくるめる首相の弁とは大違い。オール埼玉総行動の狼煙が高々と上がった。正念場に向け、安倍政権の誤魔化しに騙されることなくよく学習し、戦争法案を廃案に追い込まなければ! きよた

日本共産党 うらわ宿



5月31日「オール埼玉総行動」の会場は、1万400人のいっぱい参加者の熱気であふれていました。北浦和公園集会以1万人超えは初めてとの事。それだけ戦争法反対の声が大きくなっている事を実感しました。リレートークで高校3年生の山森要さんが堂々と発言され、若い子も自分の未来を真剣に考え、行動していることを聞き、感動と勇気をもらいました(うちの息子たちにも聞かせたかったです)。暑い日で、若干熱中症気味になりましたが、浦和区の皆さんと南と野駅まで大声でアピールしながらのパレード、楽しかったです。「国民の声を聞きなさい!」の言葉がおかしくて馬場さんと大笑い! 大声で叫んでストレス発散になったかも・・・。「戦争する国反対! 憲法9条守れ! 安倍は辞めろ!」の声を上げていきましょう!(大友啓子)

6月議会が始まります

後援会のみなさんお元気ですか。市議選が終わって2カ月がたとうとしています。「5.31オール埼玉総行動」には、全県から1万400人の方々が集まり、「9条壊すな、戦争させない」の大集会が成功しました。私も、浦和区のパレードに参加し、必ず「廃案」に追い込む決意を固めました。

さて、前回のニュースでは、5月臨時議会が行われ議会の体制が決まったことをお伝えしました。6月議会は、新しく選出された議員にとって最初の本格的

鳥海としゆきの議会報告

的議会です。今議会には28本も議案が市長から提出されました。6月15日(月)から17日までは、各会派による代表質問及び一般質問が行われます。日本共産党からは、代表質問を私が行うことになり、市長の政治姿勢について、「戦争法案」問題、「戦後70年の節目に立って歴史認識」等を質します。条例議案では、マイナンバー制度にかかわる議案をはじめ、議員の期末手当値上げ条例などが審議されます。「期末手当」議案は、今年

日本共産党浦和区後援会ニュース
2015年6月号 48
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

安倍政権が進める戦争法案を廃案に追い込むため、「5.31 オール埼玉総行動」に参加しました。国会では野党の追及に対して答えはぐらかし、時間稼ぎの委員会審議が続いています。しかし共産党の志位さん、穀田さん、赤嶺さんの追及は十分に用意された資料によって、隠す事のできない戦争法案の本質を明らかにしています。兵站を後方支援と言い換え、武力行使を武器使用と言い換え、法案名にさえ「平和」を入れて国民を騙そうとしています。しかし憲法審査会では自民党が推薦した憲法学者でさえも戦争法案を「違憲」だと断言しました。戦争法案は、戦後70年間守り続けてきた憲法9条が掲げる平和主義を根底から否定するものです。断じて許す事はできません。殺し殺される戦争という極限の状態を日本の若者に味あわせる事は出来ません。これからも声を弱める事なく戦争法案を廃案に持って行きましょう!(岡本啓一)

の2月議会で審議未了となったもので、今回2度目の議案となります。2月議会では、市長、副市長等の期末手当が日本共産党以外のオール与党で可決されています。今回は、議員まで値上げをしようというわけです。党市議団は、しっかり議論に参加して再び廃案に向けて全力で取り組みます。消費税増税、年金切り下げ、下水道料金値上げ、高い国保税など、市民負担が押し付けられる中、議員の期末手当の値上げなど、市民の合意など得られるはずがありません。みなさん、議会傍聴をお願いいたします。

出版社は読者からの励ましが何より力になります

あけび書房社長久保則之氏に聞く



「うらわ宿」編集部は5月下旬、浦和区東岸町にお住まいで2014年度第30回梓会出版文化賞を受賞された出版社「あけび書房」の代表取締役社長久保則之氏(写真)にインタビューしました。設立から32年間、一貫して福祉、貧困、憲法をテーマに、これまで300冊近い本を出版しています。久保社長に、受賞の喜びやこれから出したい本、出版界の状況そして安倍政治への姿勢などについて縦横無尽に語っていただきました。

Q. 「梓会出版文化賞」受賞おめでとうございます。この賞について概要を教えてください。また今回の受賞理由、感想などをお願いします。

A. 作品や著作者には芥川賞など数多くの賞がありますが、出版社に与えられる賞は、この梓会出版文化賞が唯一と言っていいほどです。この賞は毎年1つの社に与えられ、大手ではなく継続的に頑張っている中小出版社が対象になります。今回私共が受賞しました。『NHKが危ない!』『これでいいのか! 日本のメディア』『日本の奨学金はこれでいいのか!』『生活保護で生きちゃおう!』など「挑戦的で気骨ある出版活動」というのが選考理由です。上野千鶴子さんや斎藤美奈子さん、竹内薫さん等、素敵な審査員の方々から評価されたということで、大変嬉しく思っています。

Q. 久保社長の経歴や、あけび書房の歩みを教えてください。

A. 生まれは名古屋です。大学は名古屋大工学部応用化学科だったので、卒業直前の4年生の12月に中退し、哲学をやりたくて当時島田豊先生がいた日本福祉大学に受験し直し、入学しました。四日市コンビナートの大手企業に就職をすることになっていたのですが、このまま公害をまき散らす企業に入っているのだからと疑問を感じ、学生運動真っ盛りの影響もあってもう一度考えてみたくなったんですね。親は勿論嘆きました。日本福祉大学で共同作業所など障がい者問題にかかわって福祉にも関心を持つようになりました。卒業後、上京し、機関紙協会本部の出版部門に約10年勤めました。その時に学んだことが独立して出版社を開く上で役立っていったと思います。あけび書房を設立したのは、当時中曽根政権が進めていた福祉切り捨て路線に出版活動を通して反撃したかったためです。設立日も1983年2月1日で老人保険法が施行された日としました。この日はそれまで無料だった老人医療が有料となった日です。

Q. 最初の本は映画「いのちの山河～日本の青空～」の原作で有名になった『沢内村奮戦記』でしたね。

A. そうです。国に抗して老人医療無料を続けた沢内村の本です。及川和男さんの『村長ありき』とともに映画の原作になりました。この本は現地の岩手県沢内村に何度も通って村長や病院長、保健婦さん達と一緒に作った本でもありましたので、思い出深いです。この本で出版活動をスタートできたのは幸運でした。

Q. この本がもっとも売れたのですか。

A. 『沢内村奮戦記』はよく売れましたが、最も売れたのは『福祉が人を殺すとき』という本です。題名は私がつけましたが、衝撃的な題名です。実はこの題名は、荒川区で実際に起きたあるおばあちゃんの自殺事件に関係しています。そのおばあちゃんは生活保護

を受けていたのですが、役所からいろいろ言われていました。そしてついに、「福祉は人を生かすのですか殺すのですか。分からなくなりました。私はもう生きてたくありません」との遺書を残して死んでいった事件がありました。その遺書をもとにつけました。私自身が非常に衝撃を受けた事件でしたから。

Q. いま出版業界はどうなっているのでしょうか。大分右傾化している本が書店や広告で目立つのですが。

A. とにかく景気が悪く活字離れもあって売れそうな本しか作らないという現実があります。それと右傾化しているというのはその通りで、我々でも議論になっています。ヘイトスピーチなどの右傾化はその類の本の多さにも現れていますが、大手書店などの売り場での置かれ方も大々的で異常です。一方、右傾化に批判的な本が書店に並ぶと、書店にクレームが入る。特に昨年がひどく、そうしたクレームで自粛してしまう書店がでてきている。これは言論・出版の自由にとって大きな問題です。



私達は同じ志を持っている出版社20社程で「平和の棚の会」という会を組織し、平和を追求している本の売り場を作ってくれるよう書店に協同の働きかけをしています。これも右傾化に対抗する一つの活動とありますが、出版社と書店の大切な励まし合いでもあります。協力してくれる書店の輪が広がってきています。

Q. 私たちは出版界のそうした動向にどうしたらいいのでしょうか。

A. 一番励みになるのは読者の皆さんから来る手紙、FAX、TEL、メールなどの感想、書評です。特に「いい本出しましたねえ」などと言われると本当に嬉しく力が湧いてきます。愛読書ハガキや手紙、FAX

などで書いていただくのが一番いいと思います。必ず会社の上のほうに届きますから…。勿論TELやメールも有り難いです。それは出版に限らず、新聞やテレビなどメディアに対しても言えることだと思います。

Q. 共産党への要望や注文がありましたら何でも言って下さい。

A. 今回市議選で当選して本当に良かったと思います。国政でも躍進しています。嬉しいですね。とにかくもっともっと数を増やして欲しい、増やしたい、それにつきますね。ただ悔しいけれど、いくら頑張っても小選挙区だと厳しいという現実があります。この選挙制度をなんとかしないとダメです。

Q. いろいろと有難うございました。これからの抱負をお聞かせ下さい。

A. 福祉・貧困、憲法、メディアという三本柱で今後も頑張っていきたい。それと、先程の小選挙区制。この制度をかついだA級戦犯は当時のメディアだと思っています。小選挙区制廃止の本づくりに力を注ぎたいと思っています。

なお、久保社長よりおすすめの本を4冊ほど紹介していただきました。詳しくはあけび書房ホームページをご覧ください。

- 『重大な岐路に立つ日本』世界平和とアピール七人委員会・編(池内了、池辺晋一郎、大石芳野、小沼通二、高原孝生、高村薫、土山秀夫、武者小路公秀・著)1400円。
- 『NHKが危ない! - 政府のNHKへ -』(池田恵理子、戸崎賢二、永田浩三・著)1600円。
- 『ヒロシマを生きのびて - 被爆医師の戦後史』(肥田舜太郎、林京子・著)2000円。浦和区在住肥田先生の本です。
- 『日本の奨学金はこれでいいのか! - 奨学金問題対策全国会議・編(伊東達也、岩重佳治、大内裕和、藤島和也、三宅和久・著)1600円。

近年、歴史の教科書にも紹介されるようになった「五日市憲法案」の生まれた五日市を先日訪ねた。この「草案」は、一六八八年(昭和四三年)五日市の山深い森の中の名主であった深澤家の土蔵の中から発見された。

自由民権運動研究の第一人者である東京経済大学の色川大吉教授(当時)とそのゼミ生によってその土蔵の扉が開かれ、一万点近い膨大な資料が見つかり、百余年近い眠りから覚めたのであった。蔵は山の傾斜地にあり、屋敷の一隅に残っていた。

政、「草案」は立法、行政、司法で構成され、その中心思想には「日本国民二各自ノ権利自由ヲ達ス可シ他ヨリ妨害ス可ラス」とあり、近代憲法の中核たるべき「人権」思想が全体に貫かれ、明治初期にあつては画期的なものであった。この山峡の地でこのような「憲法草案」が生まれたことは驚くべきことである。

この運動は秩父事件を最後に天皇制国家権力に徹底的に弾圧されたが、この民主主義の思想の源流は、脈々とその後の幾多の困難に耐えて地下水脈となつて民衆史の行方を照らし続けてきた。私たちがこの歴史的なたたかひの営みに学びながら、「押しつけ憲法」「イデオロギー」をね返して確信にしている必要がある。

(野々垣務)

浦和区 春のバスハイク

「名栗湖散策とさわらびの湯」、総勢三六名のバスツアーに参加した。出発後に幹事から行程の説明があり、引き続きの自己紹介はユーモアたっぷり、ドツと笑いモアアッとなり、仲間意識を高揚させた。目的地まで時間があつた。のど自慢の方から「北国の春」・高原列車は行く、「オソソレミヨ」。ちよつと子守唄になつてうたた寝をした方も。北浦から三時間余、有間川を堰き止めた名栗湖に着いた。このダム湖は東京ドームの6杯分の面積とか。湖面を漂う山背かぜ、山々の新緑が心地よい気分をさせてくれた。湖畔の喫茶店から、ビール、コーヒで喉の渇きを潤し、なんと贅沢な時間であつた。

しばし休憩して、至近にある「さわらびの湯」で昼食となった。先般、選挙の慰労、当選の挨拶、浦和区における議席奪還、今後の抱負を熱く語られ、大きな拍手があつた。乾杯に続き、歓談となった。地元の話、お祝いに駆けつけてくれたことは嬉しかったこと。お酒がお喋りと笑いを誘つて、良い雰囲気であつた。食事後、さわらびの湯に、露天風呂に、のんびりと。「満足、あー満足!」と至福のひとときである。浦和からちよつと脚を伸ばして、大いに自然を満喫した。帰途にサイボクハム、道の駅でお土産を買った。ツアリの日は無事終わった。仲間の方々と交流と絶好の行楽日和に恵まれて、楽しい旅であつた。(幹)

新緑の奥武蔵を訪れて

「名栗湖散策とさわらびの湯」に参加した。出発後に幹事から行程の説明があり、引き続きの自己紹介はユーモアたっぷり、ドツと笑いモアアッとなり、仲間意識を高揚させた。目的地まで時間があつた。のど自慢の方から「北国の春」・高原列車は行く、「オソソレミヨ」。ちよつと子守唄になつてうたた寝をした方も。北浦から三時間余、有間川を堰き止めた名栗湖に着いた。このダム湖は東京ドームの6杯分の面積とか。湖面を漂う山背かぜ、山々の新緑が心地よい気分をさせてくれた。湖畔の喫茶店から、ビール、コーヒで喉の渇きを潤し、なんと贅沢な時間であつた。